

## 一口レポート

実施日：6月30日 おもしろ「こども科学・手作りおもちゃ体験」科

講座テーマ：＜夏イベント体験学習＞「煮干しの解剖」

講師：音田輝元先生 高松真津子

- ◆煮干しの解剖、パーフェクトでした。食べてもおいしかったです。
- ◆煮干しの解剖は、細かい手の作業で認知症予防に大いに役立ちそう。このコースは老後生活に光明をもたらす。
- ◆身近なもので、深く考える、確認する事も大事ですね。
- ◆「にぼし」じっくり見た事などなかったので、いろいろ楽しかったです。
- ◆おどろきの解剖でした。小さい小さい臓器、かわいいなあ～と思いました。だしを取るとき、いつもとちがう感情がでてきそうです。
- ◆煮干しは解剖が楽しかったが、部位の見極めが難しいと感じました。
- ◆魚の嗅覚：水の通過が必要になるが、前進後進していないとき、においは、かげないのか？
- ◆去年はよくわからず、いいかげんにはっていたけど、今年は大きく判り易くて、よい標本ができた。
- ◆カタクチイワシの解剖、心配しましたが、非常にわかりやすい授業でした。予想外に楽しく、おいしかった。
- ◆楽しい煮干しの解剖でした。
- ◆煮干しの解剖、非常におもしろかった。今迄煮干しの顔をしみじみ見たことがなかったので、興味がありました。
- ◆煮干しの最後の味見が一番良かった！虫メガネ、ピンセット、竹串はとてもよかったです。（気遣いありがとう）中学生の時、カエルの解剖をやり、途中気分が悪くなったことがありました。煮干しは大丈夫！（V）
- ◆煮干しの解剖、大変楽しく、アッというまに時間が過ぎました。小さな魚にもすべての臓物が揃っていてスバラシイ！
- ◆一寸の虫にも五分の魂と実感した解剖でした。
- ◆解剖といっても「煮干し」とは。しかし体のしくみは全て区分でき、おもしろい。子ども達も興味一杯でしょう。
- ◆煮干しの解剖は内臓が小さくやりにくかったが、小さいながら、すべてがあるということに驚く。
- ◆煮干しの解剖して初めて内容がよくわかりました。
- ◆①こんな小さな体の中に色々な臓器がいっぱいつまっていることに感動しました。②最後に皮だけが残ってしまった事にも不思議な感動でした。
- ◆煮干しの解剖実験を通じて人間と同じせきつい動物としての共通性を発見しました。
- ◆煮干し（カタクチイワシ）と人間の体は基本的に差がないということがはっきりした・・・おもしろかった。
- ◆煮干しの解剖、身体の大きさにしては、心臓小さくて、卵巣が大きいなあと思いました。

- ◆何気なく食べていた煮干し、こんなにも人間と似ているのは驚きと感動でした。
- ◆煮干しもペットの犬も私達も皆同じ、脳もあり、心臓もあるのネ。たのしかった！！
- ◆ひとくちににぼしの解剖。初めての体験でした。
- ◆初めて煮干しの解剖をしましたが、小さい物の解明に少しとまどいましたが、参考になりました。
- ◆今日の煮干しの解剖はたいへんおもしろかった。煮干しにこんなにきれいに内臓があるのがわかった。
- ◆大きなイワシの煮干し、食べたら、おいしかった。解剖もおもしろかった。
- ◆イワシの解剖、こんなにきれいに分解されてすばらしい。残りのイワシで家に帰ってやってみる！！
- ◆なかなかむずかしい内容、魚を食べる際に観察します。
- ◆「煮干しの解剖」大変興味深く学習させていただきました。ありがとう！
- ◆小さなイワシといえど、人間と同じせきつい動物で立派な器官を持っている事がよくわかった。
- ◆カタクチイワシ（だしじゃこ）のカイボウ、色々目からウロコの勉強をした。
- ◆煮干しの解剖、むずかしいが、グループでの教え合いはよろしいですネ！